一般質問（5）・予算の審査から

市民の視点で誰もが安全・安心で快適なまちづくりの実現を！

山崎　英昭（民主・社）

質問 景観*行政団体になり、住民とともに良好な街並みをつくり、守っていく主体的な取り組みが不可欠だ！また、景観や緑を守り、市民の安全を守るために建築確認事務を行うべきだ！

答弁 慎重に検討したい。

質問 多くの市民から道路や歩道の整備を求められている。積極的な整備を！

答弁 長期的な視野に立ち計画的に進めたい。

質問 自転車であっても、死亡事故などの重大事故になる危険性を十分認識する必要がある。警察などとも連携し、自転車利用のルールやマナーの徹底を！

答弁 警察や交通ボランティアと連携して、自転車利用者に対する指導・啓発及び市内都立高校への指導要請をしていきたい。

質問 電動三・四輪車の利用者が増えている。道交法上は歩行者と同様であり、社会インフラのユニバーサルデザイン化と市民への啓発が求められている。駅や公共施設など、だれもが安心して外出できるように、積極的な取り組みを！

答弁 電動三・四輪車の利用者増は認識している。だれもが安全で快適に活動できるまちづくりを目指した検討を進めたい。

交通ルールを学ぶ子どもたち（保谷第二小学校）

ごみ収集、多重債務法律相談、熱中症対策等について問う

相馬　和弘（民主・社）

質問 9月よりごみの戸別収集がスタートし、10月から廃プラの分別、来年1月より有料化が実施される。

市民への説明は十分なのか。市民負担について理解と協力は得られているか。

市長 リサイクルする過程ではコストもかかる。きちんと説明責任を果たしていきたい。

質問 ひばりが丘団地地区計画について、現在ある福祉作業所、児童館、学童クラブの取り扱い、また、保育園、高齢者施設の整備計画はどうか。

市長 現在、庁内で調整を進めている。児童館はスポーツに重点を置いた新しい児童館づくりを目指す。

質問 多重債務問題は大きな社会問題になっている。他の自治体では市が法律相談事業に取り組み、多くの過払い金を業者から回収するなどの事例もある。市として積極的に取り組め。

市長 都は対策会議を設置しているが、共同体制をとりながら対応していきたい。市の法律相談での弁護士の直接受任も検討する。

質問 記録的な猛暑の中、他市中学校で夏季部活動中に熱中症による死亡事故が起きた。市教育委員会の対応と対策はどうか。

教育長 未然防止、迅速な対応を喚起した。

ごみの戸別収集

市民との約束が守れるのか？健診事業の無料化継続！

桐山　ひとみ（民主・社）

質問 基本健康診査は、市独自で追加した検査項目があり他市と比較しても大変充実した内容だ。今後の特*定健診の項目は。

答弁 特定健診の項目は、メタボリックシンドロームに着目した内容。市独自の検査項目を実施するかについては、法の趣旨や各市の状況など医師会の先生方にご意見を聞きながら関係機関と協議調整を進めていく。

質問 老人保健法対象外の18歳から39歳までの健診継続を望むが、今後の考えは。

答弁 各医療保険者に特*定健診・特定保健指導が義務づけられたことにより総合的に勘案した中で検討したい。

質問 市長マニフェストでがん検診を含む健診事業の無料化継続を掲げているが、約束は守れるのか。

答弁 今後限られた財源、医療資源等を十分生かしながら健康長寿のまちがどうしたら実現できるか努力してまいりたい。

質問 青嵐中学校に中学校給食を想定した多目的施設があるので、試行的に検証すべきだと提案してきた。答申結果が出たので、青嵐中学校は自校方式にて試行的に始めてみてはどうか。

答弁 青嵐中学校の自校方式のことや時期についても答申内容を検証してまいりたい。

予算の審査から

今定例会では、9月18日・19日の両日、予算特別委員会を開催して平成19年度補正予算の審査を行いました。ここでは、その主な内容についてお知らせします。

◆一般会計

【説明】歳入歳出予算の総額にそれぞれ18億1千500万4千円を追加し、それぞれ603億5千300万4千円とするもの。

歳入の主な項目

・不動産及び株式の譲渡所得の増加に伴う個人市民税の増により市税を8千421万5千円増額。

・繰入金を8億9千302万5千円増額。そのうち基金繰入金は（仮称）保谷駅前公民館・図書館整備事業の財源及び東京都市収益事業組合の欠損補てんのための財源として3億4千100万円増額。

・前年度繰越金を7億3千13万2千円増額。

・市債を（仮称）保谷駅前公民館・図書館整備事業等の財源として9千995万7千円増額。

歳出の主な項目

・総務費は、東京都市収益事業組合の清算事務に伴う欠損補てん金にかかわる負担金3億3千665万3千円、まちづくり整備基金積立金9千500万円など計4億9千924万3千円を増額。

・福祉施策に対する安定的な財源を確保するための地域福祉基金積立金等により民生費を1億7千223万6千円増額。

・（仮称）石川島跡地周辺道路整備計画（案）に位置づけられている道路整備予定地を土地開発公社により先行取得することに伴い、公社が金融機関に対して支払う利子相当額等として土木費を2千350万2千円増額。

・外国人英語指導補助員派遣事業、谷戸小学校の児童数増加対策として図書室を普通教室に転用するための改修工事、上向台小学校校舎増築に伴う築山等の撤去・整地にするための経費、（仮称）保谷駅前公民館・図書館の整備工事等により教育費を1億2千185万8千円増額。

・平成18年度決算に伴う余剰金（2分の1）の積み立てなどにより諸支出金を9億9千700万円増額。

【主な質疑項目】

・青嵐中学校建て替え工事の解体の遅れの原因となったアスベスト除去作業の、保護者に対する通知について

・石川島跡地周辺道路整備に係るまちづくり整備基金と道路用地取得に当たっての財源について

・谷戸小学校改修工事に関し、①クラス数の見込みはもっと早く察知し、当初予算で見込みがつかなかったか。②工事期間中の学校運営について。③図書室、ランチルーム等の対応の配慮、当事者に対する説明について

上向台小学校の築山（向台町6丁目）

・上向台小学校増築工事・設備工事に関し、①当初予算に計上するべきで、計画性がないのではないか。②築山の樹木移設について。③工事車両について。④焼却炉のアスベストについて。⑤向台小の校庭面積との検討は。近い将来敷地を取得し、校庭を広げる等の考えは。

・空調設備工事を行う地区会館の築年について

・授業改善研究推進校事業の校内体制の整備・授業公開について

・問題を抱える子ども等の自立支援事業費と適応指導教室事業費の対象者・不登校対策について

・（仮称）保谷駅前図書館・公民館に関し、①実施設計の幼児用トイレの位置・動線について。②駅前の図書館ということからの運営の特徴について

・定率減税の廃止等、増税に対する苦情及びそれに対する職員の研修について

・有料化によるごみの不法投棄対策について

・中学校給食は長の政策判断だ。一日も早い決断を。

【結果】賛成全員で可決

◆国民健康保険特別会計

◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計

◆下水道事業特別会計

◆老人保健（医療）特別会計

◆介護保険特別会計

◆保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計

【結果】以上、賛成全員で可決